

先生の笑顔

寺 崎 七 重 (92期)

先生がお亡くなりになられて早十年の月日が過ぎたのかと思いますと、時の流れの速さにただ驚くばかりです。

私は92期生です。先生と一緒に過ごさせていただいた時間はすごく短かったのですが、いろいろな出来事や先生の笑顔はいつも心によみがえってきます。

まず“高田駒次郎ゼミ”といえば“駒うどん”でした。伝統の赤提灯。名物のごぼう天うどん。おいしいうどんを作るだけでなく、先生やゼミの仲間たちとだんだん打ち解け合え、四年生の先輩方からご指導を受けたり、卒業された先輩方が食べに来られたり、たくさんの方々と出会い、初めて“駒ゼミ”のすばらしさを実感した出来事でした。

その年には先生の還暦のお祝いパーティーもありました。赤い帽子にチャンチャンコを着て、奥様とおふたりでそろってのお写真は大好きで、お祝いに参加できたことをうれしく思っています。

卒業前のゼミ旅行でも、みんなと一緒にしゃいでいた時の先生の笑顔は本当に素敵でした。お体の調子があまり良くないことを私たちに感じさせずに、一緒に旅行を楽しんで下さいました。

そして卒業式の日、先生から受け取った卒業証書には『商学部長 高田駒次郎』と書かれてあったことがとてもうれしかったことを覚えています。

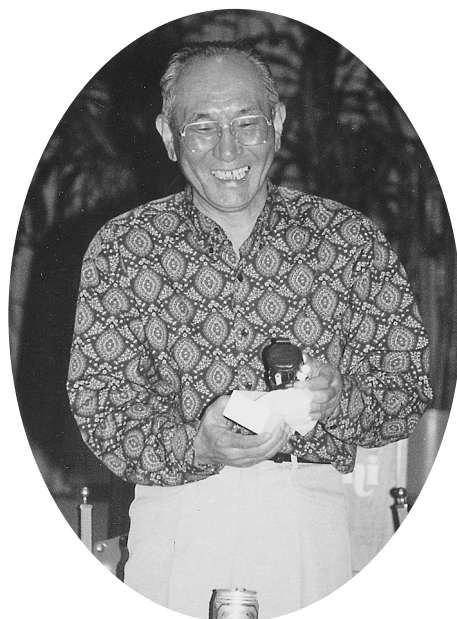
卒業してからは、あまりお会いすることもなく、約半年後に先生の悲しいお知らせを聞くことになるとは思ってもいませんでした。卒業アルバムには『毎年私の誕生日と若駒会総会でお会いしましょう』と書かれていて、とても楽しみにしていましたのに、本当に信じられませんでした。

けれども毎年9月、先生の召天日に同期の仲間4人で先生のご自宅に伺い、先生の御遺徳をしのび、奥様と思い出話や近況報告をさせていただいています。ご自宅に伺うたびに、奥様の素敵な絵がたくさん増えていて、いろいろなことに頑張っていらっしゃるのに、私は何をやっているのだろう、もっと頑張らなくては、と自分で見つめなおしてしまいます。いつも私たちのことをお気遣いくださる奥様にとても感謝しています。

先生や奥様、ご家族の方をはじめ、たくさんの諸先輩方が築きあげてきた若駒会を通して、先生のすばらしさをたくさん知ることができました。そして大学時代のいい思い出やすばらしい友人・先輩と出会えることができました。いつまでも、先生の笑顔と教えていただいたことを忘れず、高田駒次郎ゼミナールの一員であることを誇りに思って、頑張っていこうと思います。



還暦祝



1992(平成4)年3月10日
ゼミ旅行(ハワイ)にて